



いすぐみだより 1月



尚徳福社会 とちょう保育園

明けましておめでとうございます。今年もお子さまにとって、そしてご家族皆さまにとってよい年になりますように。

寒さが厳しさを増す中、元気に登園してくれた子どもたち。久しぶりに会う姿に私たちも嬉しくなりました。年末年始は静まり返っていた保育園ですが、子ども達の笑い声・時々泣き声と共に新しい年が始まり、今年も明るくにぎやかになりそうです。りす組での生活も残すところ3ヶ月となりましたが、最後まで元気に楽しく過ごしていきましょう。

本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

1月の目標

◎気持ちや主張を受け止めてもらい、認められている安心感や充実感を持って過ごす。

～ひとりひとりの思いをしっかりと受け止め、言葉にならない思いがある時には代弁しながらやりとりを楽しんでいきたいと思ひます。～

◎戸外で身体を動かし、雪、氷、霜等の自然物に触れる事を楽しむ。

～いろいろな自然物の発見を通して冷たさ、形、色などに気付き見たり触れたりする事の楽しさを味わってきたいと思ひます。～

1月生まれのおともだち

おめでとう!



年末お楽しみ会

散歩に出てクリスマスの装飾やツリーを見つけると「クリ(ス)マス～」と喜んでた子ども達。あわてんぼうのサンタクロースを歌ったり、自分達で作った製作物がツリーに飾られると嬉しそうに見上げる姿がありました。お楽しみ会当日はみんなで歌を歌い、薄暗い中キラキラ光るブラックライトシアターを見て楽しみました。最後はサンタさんも登場！ほか～んとする子、怖がる子、喜び子と反応は様々でしたが、関心を持って参加している子がほとんどでした。後日行なわれた保育士によるウクレレコンサートでもクリスマスソングで盛り上がり、笑顔あふれるひとときとなりました♪

季節の歌や飾り付けなどから、イメージを共有し合って1歳児クラスなりに雰囲気を楽しんで参加できた年末お楽しみ会。こういった日々の経験ひとつひとつが豊かな言葉や表現につながっていくのですね。

じ・ぶ・ん・で!

身も、心もぐんぐんお兄さんお姉さんになってきたりす組。手洗いの時に自分で袖をまくったり、お着替えに挑戦したり、自分で食べてみようとする等、“じぶんで!” “〇〇ちゃんが!” という声や仕草が1日の中で沢山見られるようになってきました。“手伝わないで欲しい”の場面。そんな時は子ども達の思いを大切に寄り添いながら見守るようにしています。“やりたいけど…うまくできない…”にはできるように方法を伝えたり、さり気なく手を貸すことで達成感や満足感を感じられるようにお手伝いしています。この時に感じた“できた!”や“困っている事を分かってくれた”の想いからは、安心感や自信を得て次にまた“やってみよう”“言ってみよう”という姿へと続いていくのです。

例えば園では、柔らかくぎゅっと引っ張りやすい靴下を用意することで子ども達の“自分で”の想いを後押ししています。この時期の子ども達の洋服を選ぶ際は、こういったものも参考にさせて頂けたらと思ひます。

*柔らかく伸縮性のあるもの *少しゆとりのあるもの

*ボタンではなくスナップのものが◎

よろしくお願ひします。

